

平成 28 年度事業報告

1. 言語力向上のための事業

1) 制度・政策活動

① 学校図書館活性化のための活動

i. 「学校図書館図書整備 5 か年計画の継続・拡充のための集い」

4月21日、衆議院第1議員会館・多目的ホール。

平成28年3月の集いで、新聞活用教育や図書の質的向上、学校司書の専任化などの要請を各現場から受けた。これを受け、学校図書館議員連盟は官房長官、総務大臣、文科大臣に対して申し入れを行った。子どもの読書・学習環境に関わる政策実現のため、2次行動として開催。新聞界、出版界、図書館関係者など約200名が参加した。



ii. 「学校図書館予算の拡充をめざす緊急集会」

12月7日、衆議院第1議員会館・大会議室。

第5次学校図書館図書整備5か年計画及び学校司書配置の促進にかかわる予算要望を立法院と行政府に伝えるため、集いを開催。新聞界、出版界、図書館関係者など約200名が参加した。



iii. パンフレット「学校図書館の出番です」の制作

平成29年度を初年度とする第5次学校図書館図書整備等5か年計画に基づく地方財政措置(交付税措置)にかかわる図書及び新聞の購入費、学校司書配備費が市町村で予算化されるよう働きかける。その活動に必要なパンフレットの制作にあたる。平成29年4月発刊、全国の自治体、教育委員会、公共図書館などに配布する予定。

②「書籍・雑誌の軽減税率に関する勉強会」

実務者会議及び事務局を設置。平成28年度与党税制改正大綱で「日常生活における意義、有害図書排除の構築状況等を総合的に勘案しつつ、引き続き検討する」とされた書籍・雑誌を対象とする軽減税率導入につき、出版界としての見解、今後とるべき方針に関する検討を5回の会議で行った。2017年6月までの国会会期中に報告書を作成する予定。

2) 読書基盤づくり事業

言語活動推進フォーラム「キッズフェスタ」

日本文化の基盤である「日本語」を活用した体験活動を通じて、子どもたちの表現力や想像力を育てることを目的に全国5会場で開催。各会場のメインホールでは公演を、サブホールでは各種体験コーナーを設置した。

▼8月20日 大阪府岸和田市・浪切ホール〔共催:毎日新聞社〕

メインホール

- ・サイエンスショー:ボルトボルズ
- ・おはなし会:真珠まりこ(絵本作家)

サブホール

- ・缶バッジ作り、とびだす絵本作り、F-1 コンテスト、絵本のひろば
- こども新聞をつくろう、読み語りコーナー

参加人数:メインホール&サブホール約600名



▼10月29日 札幌市・ACU札幌〔共催:北海道新聞社〕

メインホール

- ・音楽ショー:ケロポンズ
- ・おはなし会:宮西達也(絵本作家)

サブホール

- ・缶バッジ作り、とびだす絵本作り、F-1 コンテスト、絵本のひろば
- こども新聞をつくろう、読み語りコーナー

参加人数:メインホール&サブホール約700名



▼11月23日 仙台市・TKPガーデンシティ仙台〔共催:河北新報社〕

メインホール

- ・コンサート:HARCO
- ・おはなし会:とよたかずひこ(絵本作家)

サブホール

- ・缶バッジ作り、とびだす絵本作り、F-1 コンテスト、絵本のひろば
- こども新聞をつくろう、ことばの貯金箱、読み語りコーナー

参加人数:メインホール&サブホール約600名



▼2017年1月28日 東京千代田区・イイノホール〔共催:読売新聞社〕

メインホール

- ・トークショー:原ゆたか(児童文学作家)&山寺宏一(声優)

サブホール

- ・缶バッジ作り、とびだす絵本作り、F-1 コンテスト、絵本のひろば
- こども新聞をつくろう、読み語りコーナー

参加人数:メインホール&サブホール約900名



▼2月25日 福岡市・エルガーラホール [共催:西日本新聞社]

メインホール

・ミュージック&マジックショー:大友 剛(パフォーマー)

・ライブペイント:長谷川義史(絵本作家)&大友 剛

サブホール

・缶バッジ作り、とびだす絵本作り、F-1 コンテスト、絵本のひろば

こども新聞をつくろう、読み語りコーナー

参加人数:メインホール&サブホール約700名

3) 読書・体験活動事業

「高校生書評合戦東京都大会」[共催:東京都教育委員会]

高校生がお薦めの本を発表し合い、参加者らが一番読みたいと思う本(チャンプ本)を決める「高校生書評合戦」を開催した。

9月25日、都立石神井高等学校で行われた予選には、都内の各学校代表生徒234名が参加。投票によりチャンプ本を決め、選出された18名の生徒は10月30日の準決勝・決勝大会に臨んだ。

渋谷・青少年総合センターで行われた決勝大会での優勝者と準優勝者は、2016年1月8日に開催された「全国高等学校ビブリオバトル2016」に出場した。

2. 人材育成・能力開発のための事業

1) 子ども読書大使の養成事業

「読書と体験の子どもキャンプ」[共催:国立青少年教育振興機構]

7月28日から31日までの4日間、東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。全国38都道府県52校の小学校5、6年生100人が参加。子どもたちは野外炊事でスペシャルバーガー作りに挑戦したり、国際子ども図書館、スカイツリーを見学した。最終日にはワークショップのテーマ「みんなで作る!学校図書館」の成果をポスターセッション方式で発表した。



2) 言語活動・読書推進リーダーの育成

i. シンポジウム「歴史を語る言葉」[共催:日本経済新聞社]

9月15日、千代田区・日経ホール。小説家・和田竜氏のトークショー、出口治明氏(ライフネット生命保険会長)、北川智子氏(歴史学者)、春野恵子氏(浪曲師)による「歴史の中の女と男」と題したパネル討論。活字情報を通じていにしえの人たちの生、世の中のうつろいに触れ、知り、胸躍らせる——。そんな「歴史を語る言葉」の魅力を語っていただいた。500名が参加。



ii. 朗読指導者養成講座

朗読を通じた地域の人びとをつなぎ、子どものことばを育てる活動の核になる朗読指導者を養成することを目的に、山根基世氏(アナウンサー)を講師に迎え、4月9日から開講。本年度は土日2クラスを設置し、各30名が全12回の講座を受講した。2期生として2017年3月修了。

3. 情報提供・広報活動のための事業

1) 広報活動

活動実績や活動方針、講演会や研修会等の周知、ホームページ、メールマガジン、会報等で読書フォーラムなどの案内や募集、活動報告を行なった。

2) JAPAN/MARC頒布活動

- i. 国立国会図書館の書誌データ「JAPAN/MARC」「JM-BISC」を頒布。公立図書館、一般企業など18施設・法人と契約した。
- ii. 前年度より引き継ぎ、「全国書誌情報の利活用に関する勉強会・実務者会議」を実施。25団体にヒアリングを行い4月28日、「勉強会」に答申を提出、5月11日、図書議員連盟・活字文化議員連盟合同会議にて意見交換会、9月5日に出版業界・図書館関係者等に向け報告会を行った。その後、10月12日からヒアリングを行った団体(公共図書館、書誌情報作成企業ほか)を中心に17団体参加のもと、答申にもとづいた「選書用新刊情報活用ツール」を利用し、予備調査を開始した。(調査期間：2017年3月末まで)

3) 読書環境整備フォーラム事業

全国リレーシンポジウム「知の地域づくりを考える in 多摩市」[共催：毎日新聞社]

6月18日に東京都多摩市・多摩アカデミーヒルズにて開催。2011年から全国展開しているシンポジウムも今回で13回目となった。片山善博氏(慶應義塾大学教授)と姜尚中氏(東大名誉教授)の講演、お二人に加え作家の柳田邦男氏、阿部裕行多摩市長、太田剛氏(図書館と地域を結ぶ協議会チーフディレクター)らがパネルディスカッションをおこない、「知の地域づくり」の中心的役割を担う公共図書館、学校図書館、地元の書店のあり方について語り合った。約300名が参加した。

